

沖縄の地域資源の活用・沖縄生まれのおすすめ商品

沖縄の植物・塩を使い スローハンドメイドバスグッズを開発

自然派・無添加

石鹸・バスソルト

活用した地域資源

シークワサー、マンゴー、パパイヤ、ハイビスカス、薬用植物(月桃、ウコン、グアバ)、沖縄黒糖、沖縄の塩、海洋深層水、クチャ(泥岩)

事業概要

沖縄には独特の植物が自生しているが、その多くは非常に色々な効能を秘めている。ペナスタス株式会社はその素材に注目して、様々なバスグッズの企画開発から提案まで行っている。



ペナスタス 株式会社
専務取締役 遠山直子さん

生産者インタビュー

バスグッズの開発とありますが、
具体的にはどのような物ですか？

沖縄の植物を使って加工した石鹸、また沖縄の塩でつくったバスソルトやマッサージュソルト等ですね。石鹸について詳しく言えば、青パパイヤとかシークワサー・月桃等ですね。すべて手作りです。

なぜ手作りなのですか？

どこまでをハンドメイドと定義するかわかりませんが、ミキシングする所は機械を使ってます。ただし人間の手を入れべき所は極力手間をかけてつくっています。その為、出来るまで時間もかかりますし、大量生産もできません。現在の石鹸製造はオートメーション化しており、早く安価に大量生産ができますが、その分品質が低下します。19世紀の産業革命以前の工程に戻すと品質は良いものですが、当然時間と手間がかかりますし、材料もいいものを使わなければ製品になりません。今、スローフードやロハス等の生活スタイルが提案されていますが、これは大量生産、大量消費に対する揺り戻しだとも思います。私達はそういう流れ

の中で、天然のいいものを使って手間ひまをかけ、ゆっくりつくるものの良さや価値観を提案したいですね。

沖縄の素材を

石鹸にとりたきかけは

どこから出てきたのですか？

きっかけはもともと私の両親が石垣島でハーブを使った調味料をつくっていたんですが、製造過程でハーブがあまったりするんです。また、採れすぎたりとか調味料に向かなかったもの等を他に有効活用できないか？と言う所からはじまりました。ちょうど妻が手作りの石鹸をつくってまして、それをミックスしたのがはじめですね。最初はハーブの石鹸をつくっていたのですが、沖縄には在来の魅力な素材が多数あったので色々試していました。沖縄の素材を活かす為、油脂の配合から使用感まで考えてつくりました。石鹸って化粧品なかで一番使用頻度が高いんですよ。やはりそうなるとう効能に合わせ素材の持ち味を引き立てることが、私達の使命だと思いました。

現在どこで購入できますか？

石鹸に関してはリゾートホテルでの販売がメインになっています。そうなるとう必然的にお客様も観光客が多くなります。やはりその方達は



青パパイヤ・月桃とクチャの石鹸

今後はどのような展開を
考えていますか？

今回の資源活用プログラムを活用した新商品が来年の初めには形になるよう取り組んでいるところです。また、現在ある商品をブラッシュアップしより良いものにして、違う形でお客様に提案できたらと思います。

沖縄の素材のもつ力も魅力的だが、この石鹸がさらにその魅力を高めている。製造に対するこだわりが生み出した逸品を、皆さんも一度試してみたいは如何だろうか。



バスソルト

ペナスタス 株式会社
〒904-0004 沖縄県沖縄市中央2-6-46
TEL 098-934-7627 FAX 098-934-7628
http://lacucina.jp/